

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	31人

1. 使用状況

寄贈物品名	ミニ キーボード (CASIO SA-50)
使用学年及び人数	幼稚部 9人
使用頻度	毎月2回程度 行事使用月はほぼ毎日
使用状況	本校音楽室と幼稚部教材室に保管しており、幼稚部幼児、小学部児童が音楽の学習や休み時間、行事(発表会等)で使用しています。
物品の使用による変化や効果	・幼稚部の幼児はコロナ禍において、声を出して歌を歌ったり、鍵盤ハーモニカを使用したりすることに制限があり、音楽に触れる機会がない状況でした。キーボードを幼児に紹介をしたときは、楽器から音が出ることに喜びの歓声が沸き、次々と子供たちが楽器に触れることを喜んでいました。音楽教室に通っている子供が、みんなの前で弾いて聞かせたりすることもあり、子供たち全体への音楽に対する興味もさらに高まったと感じております。12月のお楽しみ会では、年長児の合奏を予定しており、楽器に触れる時間も多くなります。楽器を通じて音や音楽への興味や関心がさらに高まることを期待しています。
今後の活用の見通しや課題	聴覚障害の子供たちにとって、音に触れ合う機会はとても大切なことと考えております。頂いたキーボードには、音階だけでなく、様々なリズムや音色も備わっております。今後は、そのような機能を生かしながら、音楽の楽しさを味わえるよう、積極的に触れる機会を設けていきたいと思っております。
その他希望や所感など	今後も大切に使用させていただきたいと思っております。御支援いただきありがとうございました。

2. 活用の様子

幼稚部幼児の活動の様子の写真

